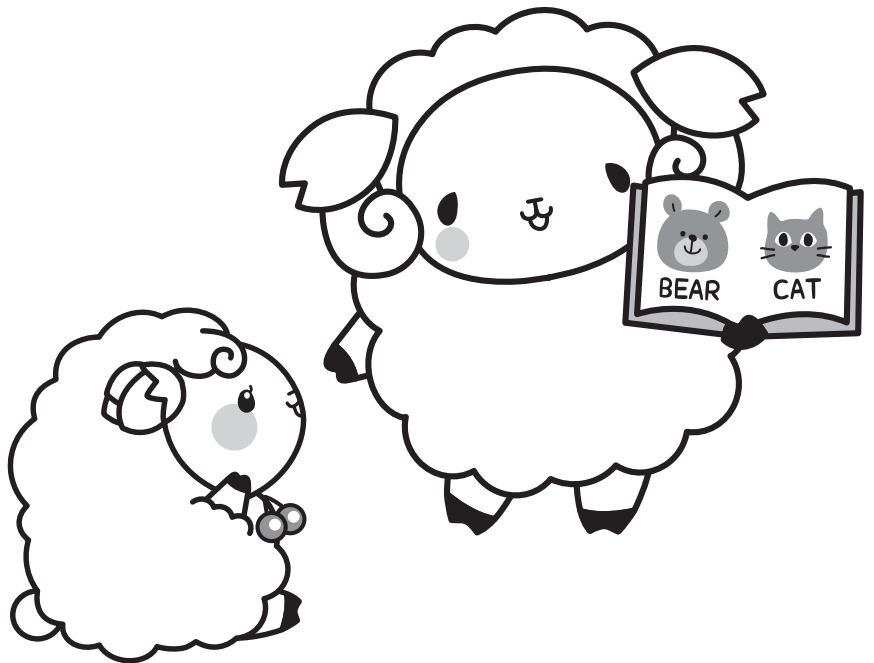


4. 学習案内



履修要項

(2022年度)

桜の聖母短期大学の学生という身分を引き受けたことを心にとめながら、豊かな学生生活を育む努力をしてください。みなさんが「カトリックの精神に根ざした人間観・世界観に基づく知的・倫理的見識を養い、豊かな心と深い教養をもって、愛と奉仕に生きる良き社会人」(建学の精神より)となれるよう、学修に取り組んでください。

この履修要項は、学則とシラバスと共に、特にみなさんの学修生活を援助するものです。履修に関して迷ったとき、この要項を参考にしてください。

1 授業

1. 1. 1 授業

授業は基本的に、通年科目の場合30回、半期開講科目(前期科目、後期科目)の場合15回行われる。また、教育上特別な必要がある科目においては、集中的に開講される場合がある。

1. 1. 2 開講時期による分類

授業科目を開講時期により次のように区分する。

- ①通年開講科目…前期、後期の1年にわたって行う授業科目(例外として1年から2年へ続く場合もある。)
- ②前期開講科目…前期のみ開講し、終了する授業科目
- ③後期開講科目…後期のみ開講し、終了する授業科目
- ④集中開講科目…ある一定期間に集中して行う授業科目

1. 2 授業時間

本学における通常の授業時間を次のように定める。

時 限	1	2	昼休み	3	4	5
時 間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	12:10～ 13:00	13:00～ 14:30	14:40～ 16:10	16:20～ 17:50

集中開講科目の授業時間は、一日の時間を最大360分以内とする。

1. 3 授業科目

1. 3. 1 授業科目の区分

- ①教養科目…本学の理念にそった人格形成を目指し、学科を問わず共通に学ぶ科目。
- ②専門科目…各学科の専門領域を深める科目。
- ③資格取得科目…免許や資格を取得するために必要な科目。

1. 3. 2 履修形態による分類

①必修科目

卒業するため、あるいは免許・資格を取得するために、単位の修得が必要な科目。

②選択必修科目

卒業するため、あるいは免許・資格を取得するために、複数の科目からなる科目群から定められた単位数を必ず選択し、単位を修得しなければならない科目。

③自由選択科目

上記の必修科目、選択必修科目と同じく、卒業するため、あるいは免許・資格を取得するために、定められた単位数を修得しなければならないが、各自が必要に応じて、あるいは卒業後の進路に照準を合わせて、自由に選択できる科目。

履修について→3
単位について→2

1. 3. 3 年次配当

各授業科目は、1年次開講か2年次開講かが定められ、有機的に関連づけられているので、原則として配当された学年で履修する。

1. 4 休講と補講

- ①休講…担当教員のやむを得ない事情、またはその他の特別な理由により授業が行えない場合がある。このようなときには、原則として掲示により周知する。掲示のみでは周知できない場合には一斉送信メールシステム等を用いて周知する。なお、特別な理由により全学終日休講となる場合には原則として学内への立ち入りは禁止する。
- ②補講…担当教員のやむを得ない事情、またはその他の特別な理由で授業時間数が必要時間数に満たない場合には、原則として補講を行う。

2 単位制

2. 1 単位制

本学の授業科目の履修は、「短期大学設置基準」(文部科学省)に定められた単位制に基づいて行われている。単位とは、学習時間を表す名称であって、授業科目ごとに短期大学設置基準でその数が定められている。この単位数を積み重ねることによって、卒業に必要な条件を満たしていく。

2. 2 履修と単位の修得

授業科目の履修登録をし、実際に履修し(授業の予習・復習、実習、レポート作成など、授業時間以外の学習を含む)、試験その他の方法を経て、担当教員により一定以上の学習成果が得られたと判定されたとき、はじめてその授業科目の単位を修得したことになる。

本学では授業科目の単位修得に必要な学習時間の確保の観点から、学生が1年間に履修登録可能な単位の上限を設けている(キャップ制)。上限については各学科・専攻において別に定める。

単位の認定については→6. 4

2. 3 卒業に必要な単位

本学を卒業するために必要な単位数は、次のとおりである。教養科目、専門科目、合計62単位以上。履修登録をする時、必要単位数以上に余裕をもって登録しておくことを奨める。

なお、資格取得科目は、卒業に必要な単位には含まれない。

免許および資格の取得について→8

2. 4 生涯学習センター合同講座の単位認定

本学附置の生涯学習センターの合同講座を定められた手続によって学修したとき、学則第33条に従って、単位として認定される。認定された単位は、「単位互換科目」として、成績表に記載される。なお、あらかじめ指定した科目については、2. 3の卒業に必要な単位として読み替えられる。

2. 5 単位互換制度の単位認定

アカデミア・コンソーシアムふくしま、福島市産宮学連携プラットフォームの単位互換制度または放送大学において他大学の科目を定められた手続によって学修したとき、学則第32条に従って、単位として認定される。認定された単位は、「単位互換科目」として、成績表に記載される。なお、2. 3の卒業に必要な単位として読み替えることを認める場合がある。

3 履修

3. 1 大学における学修とは

定められたカリキュラムに添って授業を受ける中学校や高校とは異なり、大学では、各自が、自己責任のもとに、卒業に必要な単位について熟知し、自分で自分の時間割を作成しなければならない。そのためには、履修ガイダンスに必ず出席し、『学生ハンドブック』をよく読み、各自の学修計画を立てること。特に選択必修科目や自由選択科目に関しては、このことが必要である。

3. 2 履修登録と変更・取り消し

履修科目は決められた期間に登録する。履修登録手順については、履修ガイダンス配布資料をよく確認すること。

また、登録した科目を変更する場合、原則として開講後2週間以内に学務部窓口申し出て、手続きをすませる。なお、履修科目の取り消しについても、同様である。

3. 3 選択科目と人数

選択科目の履修登録者数が極端に少ないとき、その授業を開講しないことがある。原則として専任教員の授業科目で2名以下の場合、兼任教員の授業科目で6名以下の場合がこれにあたる。また、履修登録者数に極端な片寄りが生じた場合には、調整をすることがある。

4 受講(授業の出欠席)

4. 1 出欠席・遅刻早退と評価

履修する授業科目の授業には、必ず出席しなければならない。欠席が学則に定める授業時間の3分の1を超えた場合には単位認定ができない。また、集中開講科目に関しては、1日の欠席が数時間分の欠席に相当することになるので、十分注意しなければならない。

なお、遅刻および早退は3回ごとに1回の欠席と数えられる。遅刻と早退の判別は各教員の基準によるものである。また、授業に出席した時間が授業時間の半分以下の場合、欠席とみなす。

欠席と試験の関係について→5. 4

4. 2 病欠

病気のために連続して7日以上(休日を除く)にわたって欠席した場合は、医師の診断書(授業に出席できない期間を明記したもの)を学務部窓口提出することで、病欠として配慮されることがある。

4. 3 欠席への配慮措置

以下の理由で欠席した場合、『欠席理由証明』(および定められた添付書類)を速やかに学務部窓口提出することが望ましい。科目の欠席が授業時間の3分の1を超えると、基準を超える欠席分を補講するなど、配慮することがある。ただし、欠席が2分の1を超える場合、補講等の実施は原則として行わない。

①忌引による欠席

父、母(1親等)	7日
兄弟、姉妹、祖父母	3日
伯父(叔父)、伯母(叔母)	1日

②学生が本学を代表する責任を負って学外の公式の場に出席することを、学長が承認した場合。

③学校伝染病による欠席

学校保健安全法の定める「学校において予防すべき感染症」の診断を受け、決められた期間の出席停止となった場合。『欠席理由証明』に病名を記し、受診した医療機関の印を受けて提出しなければならない。

④災害などによる欠席

風水震災、その他非常災害によって交通が遮断された場合、天災・人災によって現住居が流失・破壊・

焼失した場合、または交通機関の事故・ストライキに遭遇した場合。『欠席理由証明』の他に、その事実を証明する書類の提出を求めることがある。

⑤輸血、人命救助などによる欠席

この場合、学務部長の承認が必要である。また、『欠席理由証明』の他に、その事情を証明する書類の提出を求めることがある。なお輸血については、医療機関による緊急の要請以外は配慮措置の対象として認められない。

⑥学内・外実習、教育実習、実習事前オリエンテーション、介護等体験日、インターンシップによる欠席。

⑦就職試験が同じ時間帯に集中する場合。『欠席理由証明』の他に、その事実を証明する書類の提出を求めることがある。

⑧上記①から⑦のほか、学務部長が配慮が必要な欠席であると認めた場合。『欠席理由証明』の他に、その事実を証明する書類の提出を求めることがある。

5 試験

5.1 試験とは

授業の理解度をはかり、単位を認定するために試験が行われる。

5.2 受験心得

試験を受けるにあたっては、『試験についての心得』を遵守し、試験の運営については、科目担当者(試験監督)の指示に従う。

5.3 不正行為

試験に際して不正行為が認められた場合には、当該科目の評価は不合格とする。また、学則の規定に基づき処分の対象となる。

5.4 受験資格の喪失

次の場合、試験を受ける資格を喪失する。

- ① 欠席時間数が学則に定められた時間数の3分の1を超えた場合。
- ② 試験の開始後、所要時間の半ば以上遅刻した場合。

5.5 試験に欠席した場合と追試験

病気、事故その他やむを得ない事情(→4. 2、4. 3)によって試験に欠席した場合は、追試験の実施を科目担当者に申し出ることにより、追試験が実施される場合がある。

6 評価と成績

6.1 評価

履修登録した者に対しては、試験により成績を判定し、その結果により単位を与える。授業科目によっては、レポート提出等でこれにかえる場合もある。その他、授業中に小テストが行われる場合もあり、これも成績評価の際の重要な要素となる。

6.2 成績評価

各科目の成績評価は100点満点中の得点として算出し、60点以上を合格とする。ただし、就職や編入学のために学外に発行する成績証明書には、秀・優・良・可で記載する。

判定		合格				不合格
評価	学内	90点以上	89~80点	79~70点	69~60点	60点未満
	学外	秀	優	良	可	記載せず

6. 3 グレード・ポイント・アベレージ(GPA)

本学は学生の学習意欲を高めるとともに、厳格な成績評価と学生支援に資することを目的としてグレード・ポイント・アベレージ(履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という。)を算出する制度を定めている。グレード・ポイント(各評価にあてられる数値(評価点)。以下「GP」という。)は次表のとおりとする。

成績評価	GP	評価基準	可否
秀(90点以上)	4	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	合格
優(80～89点)	3	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	合格
良(70～79点)	2	到達目標を達成している	合格
可(60～69点)	1	到達目標を最低限達成している	合格
認定※1	対象外		
不可(60点未満)	0	到達目標を達成していない	不合格

※1 学則第31条、第32条、第33条の規定により単位を認定したもの
 学期GPA及び累積GPAの計算式は、次の各号の定めるところによるものとし、算出された数値の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示するものとする。

(1) 学期GPAの計算式

$$\frac{(\text{当該学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

(2) 累積GPAの計算式

$$\frac{\{(\text{各学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \text{の合計}\} \text{の累計}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}) \text{の累計}}$$

6. 4 単位の認定

欠席時間数が学則に定められた時間数の3分の1を超えた場合、単位認定はできない。また、通年科目で、半期の欠席が3分の1より多い場合も、単位認定はできない。

6. 5. 1 再試験等

履修科目の評価が、合格評価60点に達しないとき、該当者の学籍番号と科目番号、再試験の日時等に関して、掲示により告知する。該当する学生は告知から3日以内に受験申込書により再試験を申し込むか、再試験放棄届を学務部に提出しなければならない。再試験を申し込む場合には、受験申込書に受験料金(2,000円)を添える。願い出ると、再試験を受けることができる。しかし、再試験が告知されても受験しない場合は単位認定できない。また、再試験に代わってレポート等の提出物を課する場合がある。提出物は、本人が所定日時までに学務部窓口を持参しなければならない。

なお、再試験を受けて合格した科目の評価は、60点とする。

6. 5. 2 再試験に関する注意点

再試験当日の欠席については、4. 2、4. 3に該当する欠席の場合のみ、『欠席理由証明』の提出を条件に対応する。

また、試験の開始後、所定時間の半ば以上遅刻した場合は、受験資格を喪失する。

6. 6 再履修

必修科目の単位が認定されなかった場合、次年度にもう一度その科目を再度履修することになる。また、選択必修科目の単位が認定されなかった場合も同様である。

6. 7 成績表配布

前期の成績表は9月下旬頃、自宅に郵送される。後期および学年の成績表は3月下旬頃、自宅に郵送される。各自、修得できた単位を確認し、次の学修計画を立てる上での参考にする。

7 休学・復学・退学・転学科・再入学

休学、復学、退学、転学科、再入学については、学則第4章に従って行う。
手続きの詳細は以下の通りとする。

7. 1 休学について

休学を希望する場合は、休学の意思を示してから2週間以内に速やかに所定の様式にて学務部に提出する。休学日が期の途中の場合は、休学日の属する期までの学納金納入義務を有する。
事務処理については「退学者取扱基準」に準ずる。

7. 2 退学について

退学を希望する場合は、退学の意思を示してから2週間以内に速やかに所定の様式にて学務部に提出する。退学日に期の途中の場合は、退学日の属する期までの学納金納入義務を有する。
事務処理については「退学者取扱基準」に従って行う。

7. 3 転学科について

転学科については、顧問及び学科長に申し出るものとする。

7. 4 再入学について

再入学については、前年度の社会人選抜により行うものとする。

8 免許および資格の取得

8. 1 教育職員(栄養教諭二種)免許状の取得

卒業するために必要な単位に加えて、教職の資格取得科目(別表)を修得すると、生活科学科食物栄養専攻では栄養教諭二種免許状を取得することができる。

8. 2 教育職員(幼稚園教諭二種)免許状の取得

卒業するために必要な単位に加えて、教職の資格取得科目(別表)を修得すると、生活科学科福祉こども専攻こども保育コースでは幼稚園教諭二種免許状を取得することができる。

8. 3 保育士資格の取得

生活科学科福祉こども専攻こども保育コースの学生は、他学科、他専攻の学生とはカリキュラムが異なり、児童福祉法(昭和22年法第164号)の規定に基づいて、保育士の資格を取得することが学修の中心となる。

8. 4 栄養士免許の取得

生活科学科食物栄養専攻の学生は、他学科、他専攻の学生とはカリキュラムが異なり、栄養士法の規定に基づいて、栄養士の免許を取得することが学修の中心となる。

8. 5 ビジネス実務士資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、ビジネス実務士の資格取得科目(別表)を修得すると、全国大学実務教育協会の定める「ビジネス実務士」の資格を取得することができる。

8. 6 実践キャリア実務士資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて実践キャリア実務士の資格取得科目(別表)を修得すると、全国大学実務教育協会の定める「実践キャリア実務士」の資格を取得することができる。

8. 7 司書資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、司書の資格取得科目(別表)を修得すると、文部科学省の定める「司書」の資格を取得することができる。

8. 8 ピアヘルパー受験資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、ピアヘルパーの資格取得科目(別表)を修得すると、ピアヘルパーの受験資格を取得することができ、その試験に合格すると資格を取得することができる。

8. 9 社会福祉主事任用資格の取得

卒業するために必要な単位に加えて、社会福祉主事任用資格の資格取得科目(別表)を修得すると、「社会福祉主事任用資格」を取得することができる。

8. 10 法規等で定められる科目名の対照表

法規等で定められる科目名は別添対照表のとおりである。

- ① 栄養教諭二種免許状に関する科目
- ② 幼稚園教諭二種免許状に関する教職科目
- ③ 幼稚園教諭二種免許状に関する教科科目
- ④ 栄養教諭二種免許状・幼稚園教諭二種免許状に共通する科目
- ⑤ 保育士に関する科目(教養科目・専門必修科目・専門選択科目)
- ⑥ 栄養士に関する科目
- ⑦ 司書に関する科目
- ⑧ ピアヘルパー受験資格に関する科目
- ⑨ 社会福祉主事任用資格に関する科目
- ⑩ ビジネス実務士に関する科目
- ⑪ 実践キャリア実務士

以上

① 栄養教諭二種免許状・栄養に係る教育に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
			必修	選択
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	栄養教諭活動論	2	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項			
	食生活に関する歴史的及び文化的事項			
	食に関する指導の方法に関する事項			
・単位数		・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)		2単位
		・教員の免許状取得のための選択科目		0単位

② 栄養教諭二種免許状・教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目		
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	5	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		(教育原理に含まれる)		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育入門	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		(教育課程・教育の方法と技術に含まれる)		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	3	道徳・特別活動・総合的な学習の時間	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育課程・教育の方法と技術	2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導	1	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	1	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習事前事後指導 栄養教育実習	1 1	
	教職実践演習	2	教職実践演習(栄養教諭)	2	
・単位数		・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む)		17単位	
		・教員の免許状取得のための選択科目		0単位	

必修科目とは、免許取得のために必修という意味である。

③ 幼稚園教諭二種免許状・領域及び保育内容の指導法に関する科目①

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		
			必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	こどもと健康	1	
		人間関係	こどもと人間関係	1	
		環境	こどもと環境	1	
		言葉	こどもと言葉	1	
		表現	こどもと表現	1	
領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
・単位数	・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目			5単位 0単位	

④ 幼稚園教諭二種免許状・領域および保育内容の指導法に関する科目②

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目		
科目区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	保育内容(健康)の指導法	2	
		保育内容(人間関係)の指導法	2	
		保育内容(環境)の指導法	2	
		保育内容(言葉)の指導法	2	
		保育内容(表現)の指導法	2	
		保育内容総論	2	
・単位数	・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目			12単位 0単位

⑤ 幼稚園教諭二種免許状・大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目		
科目区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	社会的養護		2	
・単位数	・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目 ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計			0単位 2単位 13単位

必修科目とは、免許取得のために必修という意味である。

⑥ 幼稚園教諭二種免許状・教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目		
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		(教育原理に含まれる)		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		子ども家庭支援の心理学 保育の心理学	2 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援保育	2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程・保育の計画と評価	2	
等徳、総合的な学習の時間、 教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論	2	
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園教育実習事前事後指導	1	
	学校体験活動		幼稚園教育実習Ⅰ	1	
			幼稚園教育実習Ⅱ	3	
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	
・単位数 ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) ・教員の免許状取得のための選択科目				25単位	0単位

必修科目とは、免許取得のために必修という意味である。

⑦ 幼稚園教諭二種免許状・栄養教諭二種免許状に共通する科目

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目					
免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の開設授業科目			備考
科目	単位数	授業科目	単位数		
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		
体育	2	体育講義 体育実技Ⅰ	1 1		
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報演習Ⅰ	2		

必修科目とは、免許取得のために必要という意味である。

⑧ 保育士に関する科目(教養科目)

告示による教科目				本学の開設授業科目				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	キリスト教学Ⅰ	講義	1		1
				キリスト教学Ⅱ	講義	1		1
				福祉学Ⅰ	講義	1		1
				福祉学Ⅱ	講義	1		1
				国際ボランティア	講義		2	2
				日本国憲法	講義		2	2
				福島学	講義		2	2
				国際平和論	講義		2	2
				情報演習Ⅰ	演習		2	2
				情報演習Ⅱ	演習		2	2
	外国語	演習	2以上	英語Ⅰ	演習		2	2
				英語Ⅱ	演習		2	2
	体育	講義	1	体育講義	講義		1	1
実技		1	体育実技Ⅰ	実技		1	1	
合計		10単位以上	22単位					

必修科目とは、免許取得のために必修という意味である。

保育士に関する科目(専門必修科目)

告示別表第1による教科目				本学の開設授業科目				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		2
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		2
	社会福祉	講義	2	生活福祉論	講義	2		2
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2		2
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護	講義	2		2
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2
理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		2
	子ども家庭支援の心理学	講義	1	子ども家庭支援の心理学	講義	2		2
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	2		2
	子どもの保健	講義	2	こどもの保健(講義)	講義	2		2
	子どもの食と栄養	演習	2	こどもの食と栄養	演習	2		2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程・保育の計画と評価	講義	2		2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2		2
	保育内容演習	演習	5	保育内容(健康)の指導法	演習	2		2
				保育内容(人間関係)の指導法	演習	2		2
				保育内容(環境)の指導法	演習	2		2
				保育内容(言葉)の指導法	演習	2		2
				保育内容(表現)の指導法	演習	2		2
	保育内容の理解と方法	演習	4	こどもと健康	演習	1		1
				こどもと人間関係	演習	1		1
				こどもと環境	演習	1		1
				こどもと言葉	演習	1		1
				こどもと表現	演習	1		1
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2		2
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		1
	子どもの健康と安全	演習	1	こどもの健康と安全(演習)	演習	1		1
障害児保育	演習	2	特別支援保育	演習	2		2	
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護内容	演習	1		1	
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1		1	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所)	実習	2		2
		実習		保育実習Ⅰ(施設)	実習	2		2
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2		2
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2		2
合計		51単位		59単位				

必修科目とは、資格取得のために必要という意味である。

保育士に関する科目(専門選択科目)

別表第2による教科目				本学の開設授業科目				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
保育の本質・目的に関する科目	養成施設において設定		15単位以上					
保育の対象の理解に関する科目				こどもの保健(演習) I	演習	1		1
保育の内容・方法に関する科目				保育基礎演習	演習	2		2
				保育相談実践演習	演習	1		1
				保育内容演習(総合)	演習		2	2
				保育表現技術(身体表現)	演習		2	2
				こどもと表現Ⅱ	演習		1	1
				保育表現技術(音楽表現)	演習		2	2
				保育表現技術Ⅱ(音楽表現)	演習		2	2
				保育表現技術(造形表現)	演習		2	2
	クラフトⅠ	演習		2	2			
保育実習	保育実習Ⅱ 又は 保育実習Ⅲ	実習 実習	$\left[\begin{array}{c} 2 \\ 2 \end{array} \right]$	保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	実習 実習	2 2	2 2	
	保育実習指導Ⅱ 又は 保育実習指導Ⅲ	演習 演習	$\left[\begin{array}{c} 1 \\ 1 \end{array} \right]$	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	演習 演習	1 1	1 1	
	合 計		18単位以上	35単位 (9単位以上要履修)				

必修科目とは、資格取得のために必要という意味である。

⑨ 栄養士に関する科目

栄養士法施行規則別表第1 (第9条関係)の教育内容	単位数		本学の開設授業科目	単位
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2
人体の構造と機能	8		社会福祉論	2
			解剖生理学Ⅰ	2
			解剖生理学Ⅱ	2
			生化学	2
			疾病と治療	2
			生化学実験	1
食品と衛生	6		食品学	2
			食品衛生学	2
			食品加工学	2
			食品学実験	1
			食品衛生学実験	1
			食品加工学実習	1
栄養と健康	8	基礎栄養学	2	
		応用栄養学	2	
		臨床栄養学	2	
		栄養教育論	2	
		応用栄養学実習	1	
栄養の指導	6	栄養指導論Ⅰ	2	
		栄養指導論Ⅱ	2	
		公衆栄養学	2	
		臨床栄養学実習	1	
		栄養情報実習	1	
給食の運営	4	給食管理論	2	
		調理学	2	
		給食管理・学内実習Ⅰ	1	
		給食管理・学内実習Ⅱ	1	
		給食管理・学外実習	1	
		調理実習Ⅰ	1	
		調理実習Ⅱ	1	
		調理実習Ⅲ	1	
調理科学実験	1			

⑩ 司書に関する科目

図書館法施行規則第4条の教育内容 科目名	単位数		本学の開設授業科目	単位
	必修	選択		
生涯学習概論	2		生涯学習概論	2
図書館概論	2		図書館概論	2
図書館制度・経営論	2		図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2		図書館情報技術論	2
図書館サービス概論	2		図書館サービス概論	2
情報サービス論	2		情報サービス論	2
児童サービス論	2		児童サービス論	2
情報サービス演習	2		情報サービス演習	4
図書館情報資源概論	2		図書館情報資源概論	2
情報資源組織論	2		情報資源組織論	2
資料資源組織演習	2		資料資源組織演習	4
図書館基礎特論		1		
図書館サービス特論		1	図書館サービス特論	1
図書館情報資源特論		1	図書館情報資源特論	1
図書・図書館史		1		
図書館施設論		1		
図書館総合演習		1		
図書館実習		1		

選択科目から2科目取得

⑪ ピアヘルパー受験資格に関する科目

授業科目	単位
キャリア教養学科対応	
メンタルヘルスマネジメント	2
教育心理学	2
心理学	2
福祉こども専攻こども保育コース対応	
子ども家庭支援の心理学	2
保育の心理学	2
教育相談	2

⑫ 社会福祉主事任用資格に関する科目

社会福祉法第19条第1項第1号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目		本学の開設授業科目	単位数	備考
学科専攻	科目			
食物栄養専攻	社会福祉論	社会福祉論	2	『基礎栄養学』または、『栄養指導論Ⅰ』・『栄養指導論Ⅱ』のどちらか一方で可
	公衆衛生学	公衆衛生学	2	
	栄養学	基礎栄養学	2	
		栄養指導論Ⅰ 栄養指導論Ⅱ	4	
教育学	教育原理	2		
福祉こども専攻 こども保育コース	児童福祉論	こども家庭福祉	2	
	保育理論	保育原理	2	
	教育学	教育原理	2	
キャリア教養学科	心理学	心理学	2	
	経済学	経済学	2	
	法学	法学	2	
	教育学	教育原理	2	

※資格を取得するためには、厚生労働大臣の指定する上記科目から3科目以上を修得して卒業することが必要。

⑬ ビジネス実務士に関する科目

科目名		資格必修選択 単位数		備考
		必修	選択	
領域1	福祉学Ⅰ	1		10単位以上
	福祉学Ⅱ	1		
	アカデミックスキルズⅠ	1		
	アカデミックスキルズⅡ	1		
領域2	ビジネス実務		2	
	ビジネス実務総合演習		2	
	情報演習Ⅰ	2		
	情報演習Ⅱ		2	
領域3	特別研究Ⅰ	2		
	特別研究Ⅱ	2		
	キャリア形成論	2		

必修科目とは、資格取得のために必修という意味である。

⑭ 実践キャリア実務士に関する科目

科目名		資格必修選択 単位数		備考
		必修	選択	
領域 1	アカデミックスキルズⅠ	1		16単位以上
	アカデミックスキルズⅡ	1		
	ビジネス実務		2	
	キャリア形成論	2		
	プランニング入門		2	
	メンタルヘルスマネジメント		2	
領域 2	ビジネス実務総合演習		2	
	情報リテラシー		2	
	インターンシップ		2	
	特別研究Ⅰ	2		
	特別研究Ⅱ	2		

必修科目とは、資格取得のために必修という意味である。

教育課程(カリキュラム)と履修系統

学科・専攻では、専門教育課程を定め、教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)を定めています。

専門教育課程は、教養科目と専門科目の系統性を保ち、建学の精神について学び、生涯を通して学習していく主体性や、多様な人々と協働しつつ学習する態度を身につけることを目的とするものです。

カリキュラム一覧表、資格取得科目の各表で、履修の目的に応じた履修系統を確認できます。

科目の到達目標や内容などをシラバスで確認し、履修登録してください。

教養科目 2年

授業科目群	科目コード	科目名	内容他	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件										備考					
					必修	選択		前期	後期	免養教諭二種状論	二幼稚園免許状論	保育士 ※1	栄養士	ビジネス実務 ※2	実践キャリア実務士 ※3	司書	ピアヘルパー	社会福祉主任資格 ※4	GPA対象科目						
																					○	△	▲		
教養科目群	A102k1	キリスト教学Ⅱ	キャリア教養学科	1	○		講義		○																
	A102k1	キリスト教学Ⅱ	食物栄養専攻	1	○		講義		○																
	A102k1	キリスト教学Ⅱ	福祉こども専攻	1	○		講義		○			△													
	A105k1	国際ボランティア		2		○	講義	○				△													
	A106k1	福島学		2		○	講義	○				△													
	A107k1	国際平和論		2		○	講義		○			△												沖縄研修	
	A201k1	日本国憲法		2		○	講義	○				△											○		
	A202k1	教育原理	食物栄養専攻 キャリア教養学科	2		○	講義		○	○												△	○		
	A203k1	教育心理学	食物栄養専攻 キャリア教養学科	2		○	講義		○	○												CE ○	○		
	A501k1	体育講義		1		○	講義	○		○													○		
	A502g1	体育実技Ⅰ	食物栄養専攻 キャリア教養学科	1		○	実技		○	○													○		

資格取得要件欄の ○印は必修科目

- ※1 保育士：2年間で、△から6単位以上、▲から2単位以上(P.47～49を参照)
- ※2 ビジネス実務士：2年間で資格必修科目○、選択科目△の合計10単位以上資格必修(P.52の科目一覧を参照)
- ※3 実践キャリア実務士：2年間で資格必修科目○、選択科目△の合計16単位以上(P.53の科目一覧を参照)
- ※4 社会福祉主任任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.52の科目一覧を参照)

キャリア教養学科 1年 専門科目

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件					GPA対象科目	備考
			必修	選択		前期	後期	士 ビジネス ※実務 1	実 実践 士 ※リア 2	司 書	ピア ヘルパー	社会 福祉 主任 ※3		
C101k1	アカデミックスキルズI	1	○		講義		○	○	○					
C102k1	アカデミックスキルズII	1	○		講義		○	○	○					
C201k1	心理学	2		○	講義	○					○	△	○	
C202k1	経済学	2		○	講義	○						△	○	
C203k1	労働法制と人権	2		○	講義	○							○	
C204k1	地域形成論	2		○	講義	○							○	
C205k1	現代社会論	2		○	講義		○						○	
C206k1	法学	2		○	講義		○					△	○	
C207k1	経営学基礎	2		○	講義		○						○	
C208k1	生涯学習概論	2		○	講義		○			○			○	
C209t1	プランニング入門	2		○	講義・演習		○		△					
C210t1	キャリア教養特講I(編入)	2		○	講義・演習		○							
C301k1	キャリア形成論	2	○		講義	○		○	○				○	
C302e1	ビジネス実務	2		○	演習	○		△	△				○	
C303e1	インターンシップ	2		○	演習		○		△					
C304k1	リーダーシップ入門	2		○	講義・演習	○							○	
C305e1	ビジネス実務総合演習	2		○	演習		○	△	△				○	
C306e1	プレゼンテーションスキルズ	2		○	演習		○						○	
C307t1	簿記入門	2		○	講義・演習		○						○	
C308e1	ファイナンシャルプランニングI	2		○	講義・演習	○								
C309e1	ファイナンシャルプランニングII	2		○	講義・演習		○							
C310t1	医療事務I	2		○	講義・演習	○								
C311t1	医療事務II	2		○	講義・演習		○							
C401k1	北米の歴史と文化	2		○	講義	○							○	
C402e1	リーディングスキルズ	2		○	演習	○							○	
C403e1	英語とメディア	2		○	演習	○							○	
C404e1	中国語	2		○	演習		○						○	
C405e1	韓国語	2		○	演習		○						○	
C406t1	英語演習(Basic)	2		○	講義・演習		○						○	
C407t1	TOEIC演習	2		○	講義・演習		○						○	
C408e1	ライティングスキルズ	2		○	演習		○						○	
C409e1	アカデミック英語I	2		○	演習	○								
C410e1	アカデミック英語II	2		○	演習		○						○	
C411e1	専門英語演習I	2		○	演習		○						○	

資格取得要件欄の○印は必修科目

※1 ビジネス実務士：2年間で資格必修科目○、選択科目△の合計10単位以上(P.52の科目一覧を参照)

※2 実践キャリア実務士：2年間で資格必修科目○、選択科目△の合計16単位以上(P.53の科目一覧を参照)

※3 社会福祉主任任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.52の科目一覧を参照)

キャリア教養学科 2年 専門科目

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件					GPA対象科目	備考	
			必修	選択		前期	後期	ビジネス実務 ※1	実践キャリア実務士 ※2	司書	ピアヘルパー	社会福祉士 任用資格※3			
C201k1	心理学	2		○	講義	○						○	△	○	
C202k1	経済学	2		○	講義	○							△	○	
C211t1	キャリア教養特講Ⅱ(編入)	2		○	講義・演習	○									
C212k1	データサイエンス	2		○	講義	○								○	
C213k1	人間関係論	2		○	講義	○								○	
C214k1	観光論	2		○	講義	○								○	
C215k1	文化人類学	2		○	講義	○								○	
C216k1	日本社会史	2		○	講義	○								○	
C217k1	社会調査法入門	2		○	講義	○								○	
C218k1	社会学	2		○	講義	○								○	
C312k1	企業論	2		○	講義		○							○	
C313e1	公共政策論	2		○	演習		○							○	
C314e1	メンタルヘルスマネジメント	2		○	講義・演習	○			△		○			○	
C315e1	情報リテラシー	2		○	講義	○			△					○	
C316e1	リスクコミュニケーション論	2		○	演習		○							○	
C317t1	医療事務Ⅲ	2		○	講義・演習	○									
C318t1	医療事務Ⅳ	2		○	講義・演習		○								
C401k1	北米の歴史と文化	2		○	講義	○								○	
C412e1	英会話	2		○	演習	○								○	
C413e1	ビジネス英語	2		○	演習	○								○	
C414e1	時事英語	2		○	演習	○								○	
C415k1	国際関係論	2		○	講義		○							○	
C416e1	ツーリズム英語	2		○	演習		○							○	
C417e1	コミュニケーションスキルズ	2		○	演習		○							○	
C418t1	異文化理解	2		○	講義・演習		○							○	
C419e1	専門英語演習Ⅱ	2		○	演習	○								○	
C501e1	特別研究I	2	○		演習	○		○	○						
C502e1	特別研究II	2	○		演習		○	○	○						

資格取得要件欄の○印は必修科目

※1 ビジネス実務士：2年間で資格必修科目○、選択科目△の合計10単位以上(P.52の科目一覧を参照)

※2 実践キャリア実務士：2年間で資格必修科目○、選択科目△の合計16単位以上(P.53の科目一覧を参照)

※3 社会福祉士主任任用資格：2年間で△から3科目以上選択必修(P.52の科目一覧を参照)

食物栄養専攻 1年 専門科目

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件						GPA対象科目	備考
			必修	選択		前期	後期	栄養士	栄養教諭二種免許状	任用資格※1	社会福祉主事	フードサイエント	フードコーディネーター3級		
D001k1	公衆衛生学	2		○	講義	○		○	○	△				○	
D101k1	解剖生理学 I	2		○	講義	○		○	○					○	
D102k1	解剖生理学 II	2		○	講義		○	○	○					○	
D103k1	生化学	2		○	講義	○		○	○		○			○	
D201k1	食品学	2	○		講義	○		○	○		○	○		○	
D203k1	食品衛生学	2		○	講義		○	○	○		○			○	
D202j1	食品学実験	1		○	実験		○	○	○		○			○	
D301k1	基礎栄養学	2	○		講義	○		○	○	▲	○	○		○	
D302k1	応用栄養学	2		○	講義		○	○	○					○	
D303k1	臨床栄養学	2		○	講義		○	○	○					○	
D304k1	栄養教育論	2		○	講義	○		○	○					○	
D401k1	栄養指導論I	2		○	講義		○	○	○	▲		○	○		
D501k1	給食管理論	2		○	講義		○	○	○			○	○		
D502k1	調理学	2	○		講義	○		○	○			○	○		
D503s1	給食管理・学内実習 I	1		○	実習		○	○	○			○	○		
D506s1	調理実習 I	1		○	実習	○		○	○			○	○		
D507s1	調理実習 II	1		○	実習	○		○	○		○		○		
D509j1	調理科学実験 (官能評価を含む)	1		○	実験	○		○	○		○		○		
D701k1	食物栄養基礎講座	2	○		講義	○									
D801k1	フードコーディネート論 I	2		○	講義		○					○			
D803k1	食品安全性論	2		○	講義	○					○				

資格取得要件欄の○印は必修科目

※1 社会福祉主事任用資格：2年間で、指定科目△から3科目以上選択必修。▲についてはP.52の科目一覧を参照のこと。

食物栄養専攻 2年 専門科目

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件						GPA対象科目	備考	
			必修	選択		前期	後期	栄養士	免状 栄養 教諭 二種 状	任用 資格 ※1	社会 福祉 主事	フ ン ド サ イ エ	フ ン ド サ イ エ			フ ン ド サ イ エ
D002k1	社会福祉論	2		○	講義		○	○	○	△					○	
D105k1	疾病と治療	2		○	講義		○	○	○						○	
D104j1	生化学実験	1		○	実験	○		○	○			○			○	
D204k1	食品加工学 (食品機能学を含む)	2		○	講義	○		○	○			○	○		○	
D205j1	食品衛生学実験	1		○	実験	○		○	○			○			○	
D206s1	食品加工学実習	1		○	実習		○	○	○			○			○	
D305s1	応用栄養学実習	1		○	実習		○	○	○						○	
D402k1	栄養指導論Ⅱ	2		○	講義	○		○	○	▲					○	
D403k1	公衆栄養学	2		○	講義		○	○	○						○	
D404s1	臨床栄養学実習	1		○	実習	○		○	○						○	
D405s1	栄養情報実習	1		○	実習		○	○	○			○			○	
D504s1	給食管理・学内実習Ⅱ	1		○	実習	○		○	○				○		○	
D505s1	給食管理・学外実習	1		○	実習	○		○	○						○	
D508s1	調理実習Ⅲ	1		○	実習	○		○	○				○		○	
D802k1	フードコーディネート論Ⅱ	2		○	講義	○							○			
D702k1	食物栄養特論	2		○	講義		○									
D901e1	特別研究Ⅰ	2	○		演習	○			△							
D902e1	特別研究Ⅱ	2	○		演習		○		△							

資格取得要件欄の○印は必修科目

※1 社会福祉主事任用資格：2年間で、指定科目△から3科目以上選択必修。▲についてはP.52の科目一覧を参照のこと。

福祉こども専攻 こども保育コース 1年 専門科目

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期		資格取得要件				GPA対象科目	備考
			必修	選択		前期	後期	種 幼 免 許 状 ※1	保 育 士 ※2	ビ ア ヘル パー	社 会 福 祉 主 事 格		
H101e1	保育職入門Ⅰ	1	○		演習	○							
H102e1	保育職入門Ⅱ	1	○		演習	○							
H203k1	こども家庭福祉	2		○	講義		○		○		○	○	
H201k1	保育原理	2		○	講義	○			○		○	○	
H207k1	保育者論	2		○	講義		○	○	○			○	
H307e1	保育基礎演習	2		○	演習	○			○			○	
H304k1	こどもの保健(講義)	2		○	講義		○		○			○	
H401k1	教育課程・保育の計画と評価	2		○	講義		○	○	○			○	
H402e1	保育内容総論	2		○	演習	○		○	○			○	
H408e1	こどもと健康	1		○	演習	○		○	○			○	
H403e1	保育内容(健康)の指導法	2		○	演習		○	○	○			○	
H409e1	こどもと人間関係	1		○	演習	○		○	○			○	
H404e1	保育内容(人間関係)の指導法	2		○	演習		○	○	○			○	
H410e1	こどもと環境	1		○	演習	○		○	○			○	
H405e1	保育内容(環境)の指導法	2		○	演習		○	○	○			○	
H411e1	こどもと言葉	1		○	演習	○		○	○			○	
H406e1	保育内容(言葉)の指導法	2		○	演習	○		○	○			○	
H412e1	こどもと表現	1		○	演習	○		○	○			○	
H407e1	保育内容(表現)の指導法	2		○	演習		○	○	○			○	
H420e1	保育表現技術(身体表現)	2		○	演習		○		△			○	
H421e1	こどもと表現Ⅱ	1		○	演習	○			△			○	
H422e1	保育表現技術(音楽表現)	2		○	演習		○		△			○	
H424e1	保育表現技術(造形表現)	2		○	演習		○		△			○	
H413k1	乳児保育Ⅰ	2		○	講義	○			○			○	
H414e1	乳児保育Ⅱ	1		○	演習		○		○			○	
H416e1	特別支援保育	2		○	演習		○	○	○			○	
H426e1	保育教養特講Ⅰ	2		○	演習		○						集中講義 (演習 長期休暇中に開講)
H427e1	保育教養特講Ⅱ	2		○	演習								開講せず
H428e1	保育教養特講Ⅲ	2		○	演習								開講せず
H429e1	保育教養特講Ⅳ	1		○	演習		○						集中講義
H430e1	保育教養特講Ⅴ	1		○	演習								開講せず
H431e1	保育教養特講Ⅵ	1		○	演習								開講せず
H503e1	保育実習指導Ⅰ	2		○	演習		○		○				☆1年後期～2年後期
H501s1	保育実習Ⅰ(保育所)	2		○	実習		○		○				☆1年後期～2年後期

資格取得要件欄の○印は、必修科目

※1 幼稚園教諭二種免許：△は選択科目(P.45～46を参照)

※2 保育士：△は選択科目、▲は備考欄のとおり(P.47～49を参照)

福祉子ども専攻 子ども保育コース 2年 専門科目

科目コード	科目名	単 位	卒業要件		授 業 形 態	履修時期		資格取得要件				GPA対象科目	備 考
			必 修	選 択		前 期	後 期	幼稚園教諭二 種免許状※1	保育士 ※2	ピアヘルパー	社会福祉主事 任用資格		
H204k1	生活福祉論	2	○		講義	○			○			○	
H205k1	子ども家庭支援論	2		○	講義		○		○			○	
H206k1	社会的養護	2		○	講義	○		△	○			○	
H308e1	保育相談実践演習	1		○	演習		○		○			○	
H305e1	子どもの食と栄養	2		○	演習		○		○			○	
H303e1	子どもの理解と援助	2		○	演習	○			○	○		○	
H306e1	子どもの保健(演習) I	1		○	演習	○			○			○	
H301k1	保育の心理学	2		○	講義		○		○	○	○	○	
H302k1	子ども家庭支援の心理学	2		○	講義		○		○	○	○	○	
H415e1	子どもの健康と安全(演習)	1		○	演習	○			○			○	
H418e1	子育て支援	1		○	演習		○		○			○	
H423e1	保育表現技術Ⅱ(音楽表現)	2		○	演習		○		△			○	
H417k1	社会的養護内容	1		○	演習		○		○			○	
H419e1	保育内容演習(総合)	2		○	演習		○		△			○	芸術表現発表会を含む
H426e1	保育教養特講Ⅰ	2		○	演習		○						集中講義 (演習 長期休暇中に開講)
H427e1	保育教養特講Ⅱ	2		○	演習								
H428e1	保育教養特講Ⅲ	2		○	演習								
H429e1	保育教養特講Ⅳ	1		○	演習		○						集中講義
H430e1	保育教養特講Ⅴ	1		○	演習								
H431e1	保育教養特講Ⅵ	1		○	演習								
H506e1	保育実習指導Ⅱ	1		○	演習		○		▲				保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
H507e1	保育実習指導Ⅲ	1		○	演習		○		▲				保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
H502s1	保育実習Ⅰ(施設)	2		○	実習	○			○				
H504s1	保育実習Ⅱ	2		○	実習	○			▲				保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
H505s1	保育実習Ⅲ	2		○	実習	○			▲				保育士：Ⅱ・Ⅲいずれか選択
H601e1	保育・教職実践演習(幼稚園)	2		○	演習		○		○	○		○	
H801e1	特別研究Ⅰ	2	○		演習	○							
H802e1	特別研究Ⅱ	2	○		演習		○						

資格取得要件欄の○印は、必修科目
 ※1 幼稚園教諭二種免許：△は選択科目(P.45～46を参照)
 ※2 保育士：△は選択科目、▲は備考欄のとおり(P.47～49を参照)

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

資格取得科目 *資格取得科目は卒業要件単位に含まれません

《教職科目 幼稚園教諭二種免許状》

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期				資格取得要件 幼稚園教諭 二種免許状	GPA対象科目	備考
			必修	選択		1前	1後	2前	2後			
H701k1	教育方法論(幼稚園)	2			講義				○	○		
H702k1	教育相談(幼稚園)	2			講義			○		○		ピアヘルパー科目
H703s1	幼稚園教育実習事前事後指導	1			実習		○			○		☆1年後期～2年へ
H704s1	幼稚園教育実習Ⅰ	1			実習		○			○		
H705s1	幼稚園教育実習Ⅱ	3			実習			○		○		

《教職科目 栄養教諭二種免許状》

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期				資格取得要件 栄養教諭 二種免許状	GPA対象科目	備考
			必修	選択		1前	1後	2前	2後			
D601k1	教職入門	2			講義		○			○		
D602k1	教育課程・教育の方法と技術	2			講義		○			○		(隔年開講)
D603k1	生徒指導	1			講義		○			○		
D604k1	教育相談(栄養教諭)	1			講義				○	○		
D605e1	教職実践演習(栄養教諭)	2			演習				○	○		
D606s1	栄養教育実習事前事後指導	1			実習			○		○		
D607s1	栄養教育実習	1			実習			○		○		
D608k1	栄養教諭活動論	2			講義			○		○		
D609k1	特別支援教育入門	1			講義				○	○		
D610k1	道徳・特別活動・総合的な学習の時間	2			講義		○			○		

《司書》

科目コード	科目名	単位	卒業要件		授業形態	履修時期				資格取得要件 司書	GPA対象科目	備考
			必修	選択		1前	1後	2前	2後			
C601k1	図書館概論	2			講義		○			○		
C602k1	生涯学習概論(学科専門科目)	2			講義		○			○		
C603k1	図書館情報技術論	2			講義			○		○		
C604k1	図書館制度・経営論	2			講義		○			○		
C605k1	図書館サービス概論	2			講義	○				○		
C606k1	情報サービス論	2			講義		○			○		
C607k1	児童サービス論	2			講義			○		○		
C608e1	情報サービス演習	4			演習				○	○		
C609k1	図書館情報資源概論	2			講義	○				○		
C610k1	情報資源組織論	2			講義			○		○		
C611e1	情報資源組織演習	4			演習				○	○		
C612k1	図書館サービス特論	1			講義				○	○		
C613k1	図書館情報資源特論	1			講義				○	○		

領域	科目番号	科目名
初年次教育	C101k1	アカデミックスキルズⅠ
	C102k1	アカデミックスキルズⅡ
専門教養	C201k1	心理学
	C202k1	経済学
	C203k1	労働法制と人権
	C204k1	地域形成論
	C205k1	現代社会論
	C206k1	法学
	C207k1	経営学基礎
	C208k1	生涯学習概論
	C209t1	プランニング入門
	C210t1	キャリア教養特講Ⅰ(編入)
	C211t1	キャリア教養特講Ⅱ(編入)
	C212k1	データサイエンス
	C213k1	人間関係論
	C214k1	観光論
	C215k1	文化人類学
	C216k1	日本社会史
	C217k1	社会調査法入門
	C218k1	社会学
職業スキル	C301k1	キャリア形成論
	C302e1	ビジネス実務
	C303e1	インターンシップ
	C304k1	リーダーシップ入門
	C305e1	ビジネス実務総合演習
	C306e1	プレゼンテーションスキルズ
	C307t1	簿記入門
	C308e1	ファイナンシャルプランニングⅠ
	C309e1	ファイナンシャルプランニングⅡ
	C310t1	医療事務Ⅰ
	C311t1	医療事務Ⅱ
	C312k1	企業論
	C313e1	公共政策論
	C314e1	メンタルヘルスマネジメント
	C315e1	情報リテラシー
	C316e1	リスクコミュニケーション論
	C317t1	医療事務Ⅲ
	C318t1	医療事務Ⅳ

領域	科目番号	科目名
外国語群と 海外事情領域	C401k1	北米の歴史と文化
	C402e1	リーディングスキルズ
	C403e1	英語とメディア
	C404e1	中国語
	C405e1	韓国語
	C406t1	英語演習(Basic)
	C407t1	TOEIC演習
	C408e1	ライティングスキルズ
	C409e1	アカデミック英語Ⅰ
	C410e1	アカデミック英語Ⅱ
	C411e1	専門英語演習Ⅰ
	C412e1	英会話
	C413e1	ビジネス英語
	C414e1	時事英語
	C415k1	国際関係論
	C416e1	ツーリズム英語
	C417e1	コミュニケーションスキルズ
	C418t1	異文化理解
	C419e1	専門英語演習Ⅱ
総合的研究	C501e1	特別研究Ⅰ(教育)
	C501e2	特別研究Ⅰ(経済)
	C501e3	特別研究Ⅰ(法学)
	C501e4	特別研究Ⅰ(心理学)
	C501e5	特別研究Ⅰ(英語)
	C501e6	特別研究Ⅰ(情報)
	C502e1	特別研究Ⅱ(教育)
	C502e2	特別研究Ⅱ(経済)
	C502e3	特別研究Ⅱ(法学)
	C502e4	特別研究Ⅱ(心理学)
	C502e5	特別研究Ⅱ(英語)
	C502e6	特別研究Ⅱ(情報)
司書	C601k1	図書館概論
	C602k1	生涯学習概論(学科専門科目)
	C603k1	図書館情報技術論
	C604k1	図書館制度・経営論
	C605k1	図書館サービス概論
	C606k1	情報サービス論
	C607k1	児童サービス論
	C608e1	情報サービス演習
	C609k1	図書館情報資源概論
	C610k1	情報資源組織論
	C611e1	情報資源組織演習
	C612k1	図書館サービス特論
	C613k1	図書館情報資源特論

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

単位取得表

単位取得表(キャリア教養学科 1年次)

68回生 2022年度入学者用

教養科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅰ	1			アカデミックスキルズⅠ	1		
福祉学Ⅰ	1			アカデミックスキルズⅡ	1		
福祉学Ⅱ	1			心理学		2	
国際ボランティア		2		経済学		2	
福島学		2		労働法制と人権		2	
国際平和論		2		地域形成論		2	
日本国憲法		2		現代社会論		2	
教育原理		2		法学		2	
教育心理学		2		経営学基礎		2	
英語Ⅰ		2		生涯学習概論		2	
英語Ⅱ		2		プランニング入門		2	
情報演習Ⅰ		2		キャリア教養特講Ⅰ(編入)		2	
情報演習Ⅱ		2		キャリア形成論	2		
体育講義		1		ビジネス実務		2	
体育実技Ⅰ		1		インターンシップ		2	
				リーダーシップ入門		2	
				ビジネス実務総合演習		2	
				プレゼンテーションスキルズ		2	
				簿記入門		2	
				ファイナンシャルプランニングⅠ		2	
				ファイナンシャルプランニングⅡ		2	
				医療事務Ⅰ		2	
				医療事務Ⅱ		2	
				北米の歴史と文化		2	
				リーディングスキルズ		2	
				英語とメディア		2	
				中国語		2	
				韓国語		2	
				英語演習(Basic)		2	
				TOEIC演習		2	
				ライティングスキルズ		2	
				アカデミック英語Ⅰ		2	
				アカデミック英語Ⅱ		2	
				専門英語演習Ⅰ		2	
小計(教養1年)			A	小計(専門1年)			B

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

教養科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅱ	1			心理学		2	
国際ボランティア		2		経済学		2	
福島学		2		キャリア教養特講Ⅱ(編入)		2	
国際平和論		2		データサイエンス		2	
日本国憲法		2		人間関係論		2	
教育原理		2		観光論		2	
教育心理学		2		文化人類学		2	
体育講義		1		日本社会史		2	
体育実技Ⅰ		1		社会調査法入門		2	
				社会学		2	
				企業論		2	
				公共政策論		2	
				メンタルヘルスマネジメント		2	
				情報リテラシー		2	
				リスクコミュニケーション論		2	
				医療事務Ⅲ		2	
				医療事務Ⅳ		2	
				北米の歴史と文化		2	
				英会話		2	
				ビジネス英語		2	
				時事英語		2	
				国際関係論		2	
				ツーリズム英語		2	
				コミュニケーションスキルズ		2	
				異文化理解		2	
				専門英語演習Ⅱ		2	
				特別研究Ⅰ	2		
				特別研究Ⅱ	2		
小計(教養2年)			C	小計(専門2年)			D
				卒業要件単位数(A+B+C+D)62単位以上			

教養科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅰ	1			公衆衛生学		2	
福祉学Ⅰ	1			解剖生理学Ⅰ		2	
福祉学Ⅱ	1			解剖生理学Ⅱ		2	
国際ボランティア		2		生化学		2	
福島学		2		食品学	2		
国際平和論		2		食品衛生学		2	
日本国憲法		2		食品学実験		1	
教育原理		2		基礎栄養学	2		
教育心理学		2		応用栄養学		2	
英語Ⅰ		2		臨床栄養学		2	
英語Ⅱ		2		栄養教育論		2	
情報演習Ⅰ		2		栄養指導論Ⅰ		2	
情報演習Ⅱ		2		給食管理論		2	
体育講義		1		調理学	2		
体育実技Ⅰ		1		給食管理・学内実習Ⅰ		1	
				調理実習Ⅰ		1	
				調理実習Ⅱ		1	
				調理科学実験(官能評価を含む)		1	
				食物栄養基礎講座	2		
				フードコーディネート論Ⅰ		2	
				フードマネジメント(食品安全性論)		2	
小計(教養1年)			A	小計(専門1年)			B

教養科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅱ	1			社会福祉論		2	
国際ボランティア		2		疾病と治療		2	
福島学		2		生化学実験		1	
国際平和論		2		食品加工学(食品機能学を含む)		2	
日本国憲法		2		食品衛生学実験		1	
教育原理		2		食品加工学実習		1	
教育心理学		2		応用栄養学実習		1	
体育講義		1		栄養指導論Ⅱ		2	
体育実技Ⅰ		1		公衆栄養学		2	
				臨床栄養学実習		1	
				栄養情報実習		1	
				給食管理・学内実習Ⅱ		1	
				給食管理・学外実習		1	
				調理実習Ⅲ		1	
				フードコーディネータ論Ⅱ		2	
				食物栄養特論		2	
				特別研究Ⅰ	2		
				特別研究Ⅱ	2		
小計(教養2年)			C	小計(専門2年)			D
				卒業要件単位数(A+B+C+D)62単位以上			

教養科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅰ	1			保育職入門Ⅰ	1		
福祉学Ⅰ	1			保育職入門Ⅱ	1		
福祉学Ⅱ	1			子ども家庭福祉		2	
国際ボランティア		2		保育原理		2	
福島学		2		保育者論		2	
国際平和論		2		保育基礎演習		2	
日本国憲法		2		こどもの保健(講義)		2	
教育原理		2		教育課程・保育の計画と評価		2	
教育心理学		2		保育内容総論		2	
英語Ⅰ		2		こどもと健康		1	
英語Ⅱ		2		保育内容(健康)の指導法		2	
情報演習Ⅰ		2		こどもと人間関係		1	
情報演習Ⅱ		2		保育内容(人間関係)の指導法		2	
体育講義		1		こどもと環境		1	
体育実技Ⅰ		1		保育内容(環境)の指導法		2	
				こどもと言葉		1	
				保育内容(言葉)の指導法		2	
				こどもと表現		1	
				保育内容(表現)の指導法		2	
				保育表現技術(身体表現)		2	
				こどもと表現Ⅱ		1	
				保育表現技術(音楽表現)		2	
				保育表現技術(造形表現)		2	
				乳児保育Ⅰ		2	
				乳児保育Ⅱ		1	
				特別支援保育		2	
				保育教養特講Ⅰ		2	
				保育教養特講Ⅱ		2	
				保育教養特講Ⅲ		2	
				保育教養特講Ⅳ		1	
				保育教養特講Ⅴ		1	
				保育教養特講Ⅵ		1	
				保育実習指導Ⅰ		2	
				保育実習Ⅰ(保育所)		2	
小計(教養1年)			A	小計(専門1年)			B

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

教養科目	単位数		取得 単位数	専門科目	単位数		取得 単位数
	必修	選択			必修	選択	
キリスト教学Ⅱ	1			生活福祉論	2		
国際ボランティア		2		子ども家庭支援論		2	
福島学		2		社会的養護		2	
国際平和論		2		保育相談実践演習		1	
日本国憲法		2		こどもの食と栄養		2	
教育原理		2		子どもの理解と援助		2	
教育心理学		2		こどもの保健(演習)Ⅰ		1	
体育講義		1		保育の心理学		2	
体育実技Ⅰ		1		子ども家庭支援の心理学		2	
				こどもの健康と安全(演習)		1	
				子育て支援		1	
				保育表現技術Ⅱ(音楽表現)		2	
				社会的養護内容		1	
				保育内容演習(総合)		2	
				保育教養特講Ⅰ		2	
				保育教養特講Ⅱ		2	
				保育教養特講Ⅲ		2	
				保育教養特講Ⅳ		1	
				保育教養特講Ⅴ		1	
				保育教養特講Ⅵ		1	
				保育実習指導Ⅱ		1	
				保育実習指導Ⅲ		1	
				保育実習Ⅰ(施設)		2	
				保育実習Ⅱ		2	
				保育実習Ⅲ		2	
				保育・教職実践演習(幼稚園)		2	
				特別研究Ⅰ	2		
				特別研究Ⅱ	2		
小計(教養2年)			C	小計(専門2年)			D
				卒業要件単位数(A+B+C+D)62単位以上			

はじめに

施設利用

学生生活

学習案内

学則

会則・規程等

単位取得表(資格取得科目)

*資格取得科目は卒業要件単位に含まれません

《教職科目 幼稚園教諭》

専門科目	単位数	取得単位数
教育相談(幼稚園)	2	
教育方法論(幼稚園)	2	
幼稚園教育実習事前事後指導	1	
幼稚園教育実習Ⅰ	1	
幼稚園教育実習Ⅱ	3	
合 計		

《教職科目 栄養教諭》

専門科目	単位数	取得単位数
教職入門	2	
教育課程・教育の方法と技術	2	
生徒指導	1	
教育相談(栄養教諭)	1	
教職実践演習(栄養教諭)	2	
栄養教育実習事前事後指導	1	
栄養教育実習	1	
栄養教諭活動論	2	
特別支援教育入門	1	
道徳・特別活動・総合的な学習の時間	2	
合 計		

《司書》

専門科目	単位数	取得単位数
図書館概論	2	
生涯学習概論(学科専門科目)	2	
図書館情報技術論	2	
図書館制度・経営論	2	
図書館サービス概論	2	
情報サービス論	2	
児童サービス論	2	
情報サービス演習	4	
図書館情報資源概論	2	
情報資源組織論	2	
情報資源組織演習	4	
図書館サービス特論	1	
図書館情報資源特論	1	
合 計		

合同講座・放送大学・単位互換

本学の授業のほかに、学外で学習した内容を本学の単位として認められる方法があります。自分の専門性を高めたり、教養を深めたりするために、この学習方法をぜひ、活用してみてください。しかし、学外の科目を履修する前に、単位として認められることを予め教学部で確認してください。

1. 生涯学習センター合同講座

マリアンホールにある生涯学習センターはいくつか、単位として認定できる合同講座を開講しています。これらの講座は無料です。合同講座の単位認定を希望する学生は、生涯学習センターで講座を申し込んでください。単位認定の基準については、短大正課の基準と同様です。

2. 福島県内大学の単位互換制度

福島県の大学は単位互換制度に参加しているので、他の大学の科目を本学の単位として認めることができます。しかし、この制度を利用できるのは2年生だけです。どの大学でどういう科目がとれるかについては、説明会に参加し、単位互換担当の教職員に相談してください。

3. 放送大学

本学の学生は放送大学の講座も履修できます。詳細は説明会または単位互換担当の教職員まで問い合わせてください。

